

# 教職科目

| 授業科目       | 講義題目                                            | 単位 | 担当教員氏名           | 開講<br>セメスター | 開講曜日・講時  | 平成30年度以前入学者<br>読替先授業科目 |
|------------|-------------------------------------------------|----|------------------|-------------|----------|------------------------|
| 国語科教育論Ⅰ    | 国語科教育論Ⅰ                                         | 4  | 挽地 裕之            | 通年          | 通年水曜日2講時 |                        |
| 国語科教育論Ⅱ    | 国語科教育論Ⅱ                                         | 4  | 小川 典昭            | 通年          | 通年水曜日1講時 |                        |
| 英語科教育論Ⅰ    | 外国語教育や第二学<br>習動機づけの基本・基<br>礎                    | 4  | LEIS ADRIAN PAUL | 通年          | 通年月曜日4講時 |                        |
| 英語科教育論Ⅱ    | 外国語教育の理論と実<br>践                                 | 4  | LEIS ADRIAN PAUL | 通年          | 通年月曜日3講時 |                        |
| フランス語科教育法Ⅰ | Langue et culture de la<br>France contemporaine | 2  | MEVEL YANN ERIC  | 5           | 前期月曜日2講時 |                        |
| フランス語科教育法Ⅱ | Langue et culture de la<br>France contemporaine | 2  | MEVEL YANN ERIC  | 6           | 後期月曜日2講時 |                        |
| 地理歴史科教育法Ⅰ  | 高等学校の地理授業<br>の設計と実践                             | 2  | 浅川 俊夫            | 5           | 前期水曜日2講時 |                        |
| 地理歴史科教育法Ⅱ  | 高等学校の歴史授業<br>の設計と実践                             | 2  | 片岡 実             | 6           | 後期月曜日5講時 |                        |
| 宗教科教育法Ⅰ    | ポスト多文化主義教育<br>が描く宗教                             | 2  | 高橋 原             | 3           | 前期金曜日1講時 |                        |
| 宗教科教育法Ⅱ    | 宗教教育の問題点                                        | 2  | 高橋 原             | 4           | 後期金曜日1講時 |                        |

科目名：国語科教育論Ⅰ／Teaching Theory of the Japanese Language I

曜日・講時：通年 水曜日 2講時

セメスター：通年 単位数：4

担当教員：挽地 裕之

コード：LB93201, 科目ナンバリング：LHM-EDU901J, 使用言語：日本語

【平成30年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：国語科教育論Ⅰ

2. Course Title (授業題目)：Teaching Theory of the Japanese Language I

3. 授業の目的と概要：国語科教育を支える理論や学習指導要領の目標・内容を理解するとともに、国語の授業づくりに必要とされる基本的技能を身につける。国語科教育の意義や目的を踏まえつつ、国語科の課題や学習指導要領の目標や内容を理解する。その上で指導方法を身につける。

4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)：国語科教育を支える理論や学習指導要領の目標・内容を理解するとともに、国語の授業づくりに必要とされる基本的技能を身につける。国語科教育の意義や目的を踏まえつつ、国語科の課題や学習指導要領の目標や内容を理解する。その上で指導方法を身につける。

5. 学修の到達目標：国語科教育の意義や目的・内容を理解するとともに、基本的かつ具体的な指導方法を身につける。

6. Learning Goals(学修の到達目標)：国語科教育の意義や目的・内容を理解するとともに、基本的かつ具体的な指導方法を身につける。

7. 授業の内容・方法と進度予定：

- 1 国語教育と国語科教育 国語科教育の周辺—国語科とは—
- 2 国語科教育以前① 授業Ⅰ 体験的教育論 —自分の受けた授業—
- 3 国語科教育以前② 授業Ⅱ 林竹二の授業
- 4 国語科教育以前③ 学び 学びの背景 —消費行動の影響力—
- 5 国語科教育の今日的課題① 学力調査等に見られる問題点と課題
- 6 国語科教育の今日的課題② 高度情報化等への対応
- 7 ことばの特徴や使い方について① 主に気になることば等を中心にして
- 8 ことばの特徴や使い方について② 主に我が国の言語文化を中心にして
- 9 学習指導要領の改訂の背景と改訂 改訂の背景と趣旨及び要点(現行との比較)
- 10 教材研究①分野別 文学的文章を中心に
- 11 教材研究②分野別 説明的文章を中心に
- 12 国語の技能①話すこと・聞くこと 基本的な考え方
- 13 国語の技能①書くこと 基本的な考え方
- 14 国語の技能①読むこと 基本的な考え方
- 15 学習指導要領の目標と内容① 初等教育を中心に

8. 成績評価方法：

出席及び平常点(2点×30回=60)、レポート(10点×2回[前期・後期]=20)、その他(20%)①出席及び平常点(2点×30回=60)…対面講義でないため感想レポートの提出(送信)によって出席とします。提出期限を厳守するようにしてください。期日を過ぎて提出の場合、持点の2点から減点処理することになります。

②レポート(10点×2回[前期・後期]=20)…前期と後期に2回のレポート提出を課します。様式等は後日指示します。

9. 教科書および参考書：

『中学校学習指導要領解説国語編』(文部科学省刊※最新刊)

『高等学校学習指導要領解説国語編』(文部科学省刊※最新刊)

『新たな時代の学びを創る中学校高等学校国語科教育研究』(全国大学国語教育学会編)

10. 授業時間外学習：テキストや紹介された書籍を活用するなどして国語科教育の内容等について調べまとめる。紹介された書籍を積極的に読む等することが望ましい。

11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:“○”Indicatesthe practicalbusiness

《実務・実践的授業/Practicalbusiness》

12. その他：なし

メールアドレス(個人) hikichi361010@gmail.com

科目名：国語科教育論Ⅱ／ Teaching Theory of the Japanese Language II

曜日・講時：通年 水曜日 1 講時

セメスター：通年 単位数：4

担当教員：小川 典昭

コード：LB93101, 科目ナンバリング：LHM-EDU902J, 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：国語科教育論Ⅱ

2. Course Title (授業題目)：Teaching Theory of the Japanese Language II

3. 授業の目的と概要：中学校や高等学校の国語科における授業づくりの実践的な技能を身につける。

国語の授業づくりの特質を踏まえて、教材研究や発問づくり、指導案の作成、模擬授業等を実践的に行う。

4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)：中学校や高等学校の国語科における授業づくりの実践的な技能を身につける。

国語の授業づくりの特質を踏まえて、教材研究や発問づくり、指導案の作成、模擬授業等を実践的に行う。

5. 学修の到達目標：国語科における指導案の作成や学習指導・評価等の知識や技能を身につけ、教壇実習ができる。

6. Learning Goals(学修の到達目標)：国語科における指導案の作成や学習指導・評価等の知識や技能を身につけ、教壇実習ができる。

7. 授業の内容・方法と進捗予定：

第1回：教師の魅力～国語科が育む生きる力～

第2回：国語の授業づくりの特質について①（なぜ日本語を学ぶのか？なぜ教えるのか？）

第3回：国語の授業づくりの特質について②（心に残る国語教室の本質を探る）

第4回：国語の授業づくりの特質について③（小中高国語教室の実践からⅠ）

第5回：国語の授業づくりの特質について④（小中高国語教室の実践からⅡ）

第6回：教材研究の方法と発問・課題づくりについて①（読むことに関する高校教材を中心に）

第7回：教材研究の方法と発問・課題づくりについて②（読むことに関する中学校教材を中心に）

第8回：教材研究の方法と発問・課題づくりについて③（話すこと・聞くことに関する教材を中心に）

第9回：教材研究の方法と発問・課題づくりについて④（書くことに関する教材を中心に）

第10回：国語科が目指す「主体的・対話的で深い学び」①（学習形態の機能と授業設計ー読む書く聞く）

第11回：国語科が目指す「主体的・対話的で深い学び」②（学習形態の機能と授業設計ー机間指導と発問）

第12回：国語科が目指す「主体的・対話的で深い学び」③（学習形態の機能と授業設計ーペア学習の効果）

第13回：発展的な内容や課題に係る授業づくりについて①（韻文指導）

第14回：発展的な内容や課題に係る授業づくりについて②（情報機器の活用）

第15回：発展的な内容や課題に係る授業づくりについて③（弁論指導）

第16回：発展的な内容や課題に係る授業づくりについて④（古典指導）

第17回：学習指導案の構成について

第18回：授業設計と学習指導案の作成について①（論説・評論文教材を中心に）

第19回：授業設計と学習指導案の作成について②（小説教材を中心に）

第20回：模擬授業の実施①（A グループ）

第21回：模擬授業の実施②（B グループ）

第22回：模擬授業の実施③（C グループ）

第23回：模擬授業の実施④（D グループ）

第24回：模擬授業の実施⑤（E グループ）

第25回：模擬授業の実施⑥（F グループ）

第26回：模擬授業の振り返りと授業改善について①（自己評価を中心に）

第27回：模擬授業の振り返りと授業改善について②（相互評価を中心に）

第28回：学習評価の実際と課題について①（新学習指導要領における教育評価の基礎・基本）

第29回：学習評価の実際と課題について②（評価の実際）

第30回：国語科の実践研究の動向と課題について

※対面での模擬授業とオンライン形式の授業を感染状況に対応しながら進める予定です。

8. 成績評価方法：

平常点（50％）・模擬授業（30％）・レポート（20％）

9. 教科書および参考書：

『中学校学習指導要領解説国語編』（文部科学省刊）※最新刊

『高等学校学習指導要領解説国語編』（文部科学省刊）※最新刊

10. 授業時間外学習：説明・評論文や小説等の教材研究、学習指導案づくりなどを各自事前に行う。

11. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

《実務・実践的授業/Practical business》

12. その他：なし

ogawa-no042@td.myswan.ed.jp

科目名：英語科教育論Ⅰ／ Teaching Theory of English I

曜日・講時：通年 月曜日 4 講時

セメスター：通年 単位数：4

担当教員：LEIS ADRIAN PAUL

コード：LB91401, 科目ナンバリング：LHM-EDU903J, 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：外国語教育や第二学習動機づけの基本・基礎
2. Course Title (授業題目)：Teaching Theory of English I
3. 授業の目的と概要：1) 外国語教育の基本・基礎について理解を深める。  
2) 外国語学習動機づけの基本について理解を深める。  
3) 英語科授業の模擬授業や英語教育についてのディスカッションを行う。
4. Course Objectives and Course Synopsis (授業の目的と概要)：1) Deepening understanding of foreign language pedagogy  
2) Deepening understanding of foreign language learning motivation  
3) Participating in microteaching and discussions related to foreign language education
5. 学修の到達目標：1) 英語科教育の基本理念、目標、学習内容、指導方法、評価等を理解し、説明できる。  
2) 外国語学習動機づけに関する話題や課題についてディスカッションができる。  
3) 模擬授業を通して、基本的な指導技術を身につける。
6. Learning Goals (学修の到達目標)：1) Having a basic command of foreign language pedagogy (theories and practice)  
2) Having a basic command of foreign language learning motivation  
3) Be confident participating in microteaching and discussions related to foreign language education
7. 授業の内容・方法と進度予定：  
第1回：上手にプレゼンテーションができる人と上手にできない人の違いについて  
第2回：プレゼンテーションの基本構成、プレゼンテーションでの引用の仕方  
第3回：Introduction (導入の仕方、背景知識、thesis statement)  
第4回：プレゼンテーション1—Introduction (3分程度)  
第5回：The Body 1 (planning the body)  
第6回：The Body 2 (creating the main story)  
第7回：プレゼンテーション2—The Body (8分程度)  
第8回：Conclusion (Introductionとの繋がり、印象的な終わり方)  
第9回：プレゼンテーション3—Conclusion (3分程度)  
第10回：質問の答え方、準備時間のほぼないプレゼンテーション  
第11回：プレゼンテーション4—Impromptu Speeches (2分程度 x 2)  
第12回：スライドデザイン1 (文字の大きさ、色、フォント、等)  
第13回：スライドデザイン2 (アニメーションの使い方、写真やビデオの使い方)  
第14回：聞く側に合わせる方法、バイリンガルのプレゼンテーション、ユーモアの使い方  
第15回：最終プレゼンテーション (15分程度)  
後期  
  
第16回：後期の説明、模擬授業について、PPPの指導方法について  
第17回：PPP 模擬授業  
第18回：PPP 模擬授業  
第19回：PPP 模擬授業  
第20回：PPP 模擬授業  
第21回：PPP 模擬授業  
第22回：PPP 模擬授業  
第23回：TBLTの指導方法について  
第24回：TBLT 模擬授業  
第25回：TBLT 模擬授業  
第26回：TBLT 模擬授業  
第27回：TBLT 模擬授業  
第28回：TBLT 模擬授業  
第29回：TBLT 模擬授業  
第30回：TPPT、コースのまとめ
8. 成績評価方法：  
① 発表 x 5、40% ② 模擬授業 x 2、40% ③ 積極的な参加、20%
9. 教科書および参考書：  
教科書はありません。授業中に資料を配布します。
10. 授業時間外学習：資料を読んで、ディスカッションの準備や理解できるところとそうでないところを明確にした上で、授業に臨むこと。

1 1. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

《実務・実践的授業/Practicalbusiness》

1 2. その他：なし

英語科教育論Ⅰは英語と日本語の両方で行われる。

科目名：英語科教育論Ⅱ／ Teaching Theory of English II

曜日・講時：通年 月曜日 3講時

セメスター：通年 単位数：4

担当教員：LEIS ADRIAN PAUL

コード：LB91301, 科目ナンバリング：LHM-EDU904J, 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：外国語教育の理論と実践
2. Course Title (授業題目)：Teaching Theory of English II
3. 授業の目的と概要：1) 英語科教育の基本理念、目標、学習内容、指導方法、評価等に関する理解を深める。  
2) 英語科授業の模擬授業を行う。
4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)：1) Deeping understanding of theories and practice of foreign language pedagogy  
2) Conducting lessons in microteaching
5. 学修の到達目標：・英語科教育の目標、学習内容、指導方法、評価等を理解し、説明できる。  
・模擬授業を通して、基本的な指導技術を身につける。
6. Learning Goals(学修の到達目標)：1) Having a strong understanding of theories and practice of foreign language pedagogy  
2) Able to conduct and comment on lessons in microteaching
7. 授業の内容・方法と進度予定：  
Week 1 コース説明  
Week 2 英語教育に関するディスカッション  
Week 3 模擬授業 / 英語教育に関するディスカッション 1  
Week 4 模擬授業 / 英語教育に関するディスカッション 2  
Week 5 模擬授業 / 英語教育に関するディスカッション 3  
Week 6 模擬授業 / 英語教育に関するディスカッション 4  
Week 7 模擬授業 / 英語教育に関するディスカッション 5  
Week 8 模擬授業 / 英語教育に関するディスカッション 6  
Week 9 模擬授業 / 英語教育に関するディスカッション 7  
Week 10 模擬授業 / 英語教育に関するディスカッション 8  
Week 11 模擬授業 / 英語教育に関するディスカッション 9  
Week 12 模擬授業 / 英語教育に関するディスカッション 10  
Week 13 模擬授業 / 英語教育に関するディスカッション 11  
Week 14 模擬授業 / 英語教育に関するディスカッション 12  
Week 15 模擬授業 / 英語教育に関するディスカッション 13  
Week 16 動機づけについて  
Week 17 動機づけについて  
Week 18 動機づけに関する研究 1  
Week 19 動機づけに関する研究 2  
Week 20 動機づけに関する研究 3  
Week 21 動機づけに関する研究 4  
Week 22 動機づけに関する研究 5  
Week 23 動機づけに関する研究 6  
Week 24 動機づけに関する研究 7  
Week 25 動機づけに関する研究 5  
Week 26 動機づけに関する研究 9  
Week 27 プレゼンテーション 1  
Week 28 プレゼンテーション 2  
Week 29 プレゼンテーション 3  
Week 30 プレゼンテーション 4
8. 成績評価方法：  
①模擬授業 (40%)、②ディスカッション参加 (20%)、③研究・研究発表 (40%)
9. 教科書および参考書：  
教科書はありません。授業中に資料を配布します。
10. 授業時間外学習：毎週のテーマ関するにビデオや資料を確認しながら、ディスカッションの準備や理解できるところとそうでないところを明確にした上で、授業に臨むこと
11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness  
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○"Indicatesthe practicalbusiness  
《実務・実践的授業/Practicalbusiness》
12. その他：なし

英語科教育論 II は英語と日本語の両方で行われる。

主として実践的教育から構成される実務・実践的授業／Practical business

科目名：フランス語科教育法 I / Teaching Method of French Studies I

曜日・講時：前期 月曜日 2 講時

セメスター：5 単位数：2

担当教員：MEVEL YANN ERIC

コード：LB51209, 科目ナンバリング：LHM-EDU909J, 使用言語：英語以外の外国語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：Langue et culture de la France contemporaine
2. Course Title (授業題目)：Langue et culture de la France contemporaine
3. 授業の目的と概要：Le cours prendra plusieurs formes. Il permettra :
  - la lecture de divers types de textes
  - l'audition de documents sonores
  - une analyse de documents visuels
  - des discussions sur des sujets de société
  - des jeux de rôles
4. Course Objectives and Course Synopsis (授業の目的と概要)：Le cours prendra plusieurs formes. Il permettra :
  - la lecture de divers types de textes
  - l'audition de documents sonores
  - une analyse de documents visuels
  - des discussions sur des sujets de société
  - des jeux de rôles
5. 学修の到達目標：A l'oral comme à l'écrit, le cours permettra :
  - d'enrichir le vocabulaire et de consolider la syntaxe
  - d'augmenter les capacités d'argumentation
  - d'améliorer les capacités de compréhension

Le cours aidera aussi à découvrir la vie quotidienne en France, ses codes et usages.
6. Learning Goals (学修の到達目標)：A l'oral comme à l'écrit, le cours permettra :
  - d'enrichir le vocabulaire et de consolider la syntaxe
  - d'augmenter les capacités d'argumentation
  - d'améliorer les capacités de compréhension

Le cours aidera aussi à découvrir la vie quotidienne en France, ses codes et usages.
7. 授業の内容・方法と進度予定：
  - 1) Introduction
  - 2) Expression orale et écrite
  - 3) Expression orale et écrite
  - 4) Expression orale et écrite
  - 5) Expression orale et écrite
  - 6) Expression orale et écrite
  - 7) Expression orale et écrite
  - 8) Expression orale et écrite
  - 9) Expression orale et écrite
  - 10) Expression orale et écrite
  - 11) Expression orale et écrite
  - 12) Expression orale et écrite
  - 13) Expression orale et écrite
  - 14) Expression orale et écrite
  - 15) Expression orale et écrite
  - 16) Projection de film. Analyse et discussion
8. 成績評価方法：

Une participation à tous les cours est nécessaire. L'évaluation, régulière, demandera la rédaction de textes brefs
9. 教科書および参考書：

Le manuel sera choisi en fonction du niveau des étudiants présents.
10. 授業時間外学習：Des exercices permettront de revoir du vocabulaire ou des points de grammaire. Il faudra aussi rédiger des textes brefs en relation avec l'objet du cours.
11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness  
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business  
《実務・実践的授業/Practicalbusiness》
12. その他：なし



科目名：フランス語科教育法Ⅱ／ Teaching Method of French Studies II

曜日・講時：後期 月曜日 2講時

セメスター：6 単位数：2

担当教員：MEVEL YANN ERIC

コード：LB61207, 科目ナンバリング：LHM-EDU910J, 使用言語：英語以外の外国語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：Langue et culture de la France contemporaine
2. Course Title (授業題目)：Langue et culture de la France contemporaine
3. 授業の目的と概要：Le cours prendra plusieurs formes. Il permettra :
  - la lecture de divers types de textes
  - l'audition de documents sonores
  - une analyse de documents visuels
  - des discussions sur des sujets de société
  - des jeux de rôles
4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)：Le cours prendra plusieurs formes. Il permettra :
  - la lecture de divers types de textes
  - l'audition de documents sonores
  - une analyse de documents visuels
  - des discussions sur des sujets de société
  - des jeux de rôles
5. 学修の到達目標：A l'oral comme à l'écrit, le cours permettra :
  - d'enrichir le vocabulaire et de consolider la syntaxe
  - d'augmenter les capacités d'argumentation
  - d'améliorer les capacités de compréhension

Le cours aidera aussi à découvrir la vie quotidienne en France, ses codes et usages.
6. Learning Goals(学修の到達目標)：A l'oral comme à l'écrit, le cours permettra :
  - d'enrichir le vocabulaire et de consolider la syntaxe
  - d'augmenter les capacités d'argumentation
  - d'améliorer les capacités de compréhension

Le cours aidera aussi à découvrir la vie quotidienne en France, ses codes et usages.
7. 授業の内容・方法と進度予定：
  - 1) Introduction
  - 2) Expression orale et écrite
  - 3) Expression orale et écrite
  - 4) Expression orale et écrite
  - 5) Expression orale et écrite
  - 6) Expression orale et écrite
  - 7) Expression orale et écrite
  - 8) Expression orale et écrite
  - 9) Expression orale et écrite
  - 10) Expression orale et écrite
  - 11) Expression orale et écrite
  - 12) Expression orale et écrite
  - 13) Expression orale et écrite
  - 14) Expression orale et écrite
  - 15) Expression orale et écrite
  - 16) Projection de film. Analyse et discussion
8. 成績評価方法：

Une participation à tous les cours est nécessaire. L'évaluation, régulière, demandera la rédaction de textes brefs
9. 教科書および参考書：

Le manuel sera choisi en fonction du niveau des étudiants présents.
10. 授業時間外学習：Des exercices permettront de revoir du vocabulaire ou des points de grammaire. Il faudra aussi rédiger des textes brefs en relation avec l'objet du cours.
11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness  
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness  
《実務・実践的授業/Practicalbusiness》
12. その他：なし

**科目名：地理歴史科教育法 I / Teaching Method of Geography and History Studies I**

**曜日・講時：**前期 水曜日 2 講時

**セメスター：**5 **単位数：**2

**担当教員：**浅川 俊夫

**コード：**LB53210, **科目ナンバリング：**LHM-EDU913J, **使用言語：**日本語

**【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】**

1. **授業題目：**高等学校の地理授業の設計と実践
2. **Course Title (授業題目)：**Class study about the geography field of studies of geography and history in high school
3. **授業の目的と概要：**高等学校学習指導要領における地理科目の指導内容のポイントとその具体的展開や教材の取扱いを学び、学習指導案を作成して模擬授業を行える実践的な指導力を育成する。
4. **Course Objectives and Course Synopsis (授業の目的と概要)：**Learn the points of the teaching contents of geography subjects in National curriculum for high schools, their specific development, and the handling of teaching materials. Base on that, develop practical teaching ability to create a class plan and do a trial lesson.
5. **学修の到達目標：**①これまでの高校学習指導要領に位置づけられた地理科目の変遷を理解し、その概要を述べることができる。  
②新教育課程における地理科目について、目標と指導内容、指導の具体的展開、教材の取扱いのポイントを理解し、授業づくりを進めることができる。  
③学習指導案の役割や内容を理解し、地理科目の学習指導案を作成することができる。  
④作成した学習指導案に基づいて、(模擬) 授業を行うことができる。  
⑤(模擬) 授業の評価を基に、授業改善について考えることができる。
6. **Learning Goals (学修の到達目標)：**① You can understand the transition of geography subjects in National curriculum for high schools .And give the overview.  
② About geography subjects of high school, you can understand the points of objectives and contents of instruction, the specific development of instruction, and handling teaching materials. And be able to make lessons.  
③ You can understand the role and contents of learning guidance plan. And create learning guidance plan of geography subjects.  
④ You can give a lesson based on the learning guidance plan.  
⑤ You can improve lessons in consideration of the evaluation of the trial lesson.
7. **授業の内容・方法と進度予定：**  
第1回：オリエンテーション、高校学習指導要領「社会科・地理歴史科」地理科目の変遷に関する講義（1）  
第2回：高校学習指導要領「社会科・地理歴史科」地理科目の変遷に関する講義（2）  
第3回：学習指導要領「地理総合」の目標や内容の要点に関する講義〈1〉  
第4回：学習指導要領「地理総合」の目標や内容の要点に関する講義〈2〉  
第5回：学習指導要領「地理探究」の目標や内容の要点に関する講義  
第6回：学習指導案の役割と基本的内容に関する講義・演習（1）－役割と構成  
第7回：学習指導案の役割と基本的内容に関する講義・演習（2）－目標と展開、評価  
第8回：地理教材の作成に関する講義・演習（1）－デジタル地図教材を中心に  
第9回：地理教材の作成に関する講義・演習（2）－GIS 教材を中心に  
第10回：地理教材の作成に関する講義・演習（3）－シミュレーション教材を中心に  
第11回：地理教材の作成に関する講義・演習（4）－フィールドワーク教材を中心に  
第12回：全体またはグループ単位での模擬授業実施とルーブリックによる相互評価（1）  
第13回：全体またはグループ単位での模擬授業実施とルーブリックによる相互評価（2）  
第14回：全体またはグループ単位での模擬授業実施とルーブリックによる相互評価（3）  
第15回：模擬授業の振り返り、相互評価結果を基にした授業改善レポート作成
8. **成績評価方法：**  
これまでの学習指導要領における地理科目や新学習指導要領地理科目に関する確認テスト（20%）、学習指導案の作成及びそれに基づく模擬授業（40%）、課題の取組状況・授業への参加態度等（40%）
9. **教科書および参考書：**  
教科書：文部科学省（2018）『高等学校学習指導要領（平成 30 年告示）解説 地理歴史編』，東洋館出版社（または文部科学省 HP [https://www.mext.go.jp/content/20211102-mxt\\_kyoiku02-100002620\\_03.pdf](https://www.mext.go.jp/content/20211102-mxt_kyoiku02-100002620_03.pdf) よりダウンロード可能）。  
帝国書院『高等学校 新地理総合』  
東京書籍『新高等地図』（高校で使用了「地図帳」の流用可）  
参考書：国立教育政策研究所（2021）：『「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料 高等学校地理歴史』，東洋館 出 版 社 （ また は 国 立 教 育 政 策 研 究 所 HP [https://www.nier.go.jp/kaihatsu/pdf/hyouka/r030820\\_hig\\_chirirekishu.pdf](https://www.nier.go.jp/kaihatsu/pdf/hyouka/r030820_hig_chirirekishu.pdf) よりダウンロード可能）。  
井田編著（2021）：『高校社会「地理総合」の授業を創る』，明治図書。  
大野・竹内編著（2021）：『地域と世界をつなぐ「地理総合」の授業』，大月書店。

吉水編著（2019）：『本当は地理が苦手な先生のための 中学社会 地理的分野の授業デザイン&実践モデル』，明治図書．

1 0．授業時間外学習：課題レポートへの取組、学習指導案の作成、模擬授業に向けた教材研究などを行う。

1 1．実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note：“○”Indicatesthe practicalbusiness

《実務・実践的授業/Practicalbusiness》

1 2．その他：なし

科目名：地理歴史科教育法Ⅱ／ Teaching Method of Geography and History Studies II

曜日・講時：後期 月曜日 5 講時

セメスター：6 単位数：2

担当教員：片岡 実

コード：LB98836, 科目ナンバリング：LHM-EDU914J, 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：高等学校の歴史授業の設計と実践
2. Course Title (授業題目) : Class study about the history field of studies of geography and history in high school
3. 授業の目的と概要：高等学校の地理歴史科の歴史科目の目標を理解し，その内容を歴史学の成果と関連させて深めるとともに，授業実践のための基礎理論を学んで授業設計を行い，模擬授業を実施する。  
本授業では，歴史科目の目標や内容など学習指導要領の基本的内容を学び，歴史学の成果も踏まえて教材研究や学習指導案作成の質を高める。学習指導案の作成に当たっては，情報機器及び教材の効果的な活用を図る。その上で班単位の模擬授業を行い，その振り返りを通して授業改善を試みる。
4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要) : Students will understand the goals of the history subjects of studies of geography and history in high school, deepen the contents in relation to the results of history studies, learn the basic theories for class practice, design lessons, and carry out mock lessons.  
In this class, students will learn the basic contents of the course of study, such as the goals and contents of history subjects, and improve the quality of teaching material research and the creation of lesson plans based on the results of history studies. In creating lesson plans, they will make effective use of information equipment and teaching materials. After that, they will be required to give a mock lesson for each group and try to improve the lesson by looking back.
5. 学修の到達目標：① 各歴史科目の目標や内容並びに全体構造を理解している。  
② 教材研究の仕方や学習指導案の作成などの基礎的な学習指導理論を理解している。  
③ 模擬授業を通して授業構力や実践力を高め，授業改善の視点を身に付けている。
6. Learning Goals(学修の到達目標) : 1) Students will learn the goals and contents of each history subject and the overall structure.  
2) Students will learn basic learning instruction theory such as how to study teaching materials and create lesson plans.  
3) Mock lessons help improve students' ability to structure and conduct lessons and help them acquire perspectives on lesson improvement.
7. 授業の内容・方法と進度予定：  
第1回：授業に関するガイダンスと新学習指導要領の要点  
第2回：歴史総合の目標と内容及び評価  
第3回：世界史探究の目標と内容及び評価  
第4回：日本史探究の目標と内容及び評価  
第5回：「指導上の配慮事項」と情報機器，教材の活用法  
第6回：授業設計と教材研究（研究授業のVTR視聴）  
第7回：学習指導案の書き方と評価  
第8回：学習指導案の作成と情報機器，教材の活用法（世界史探究）（演習）  
第9回：学習指導案の作成と情報機器，教材の活用法（日本史探究）（演習）  
第10回：学習指導案の作成と情報機器，教材の活用法（歴史総合）（演習）  
第11回：模擬授業（世界史探究）と討議，講評（演習）  
第12回：模擬授業（日本史探究）と討議，講評（演習）  
第13回：模擬授業（歴史総合①）と討議，講評（演習）  
第14回：模擬授業（歴史総合②）と討議，講評（演習）  
第15回：歴史科目の実践研究の動向
8. 成績評価方法：  
模擬授業の評価（30%），学習指導案の評価（30%），授業で課される小レポート（30%），授業中の発言や態度（10%）
9. 教科書および参考書：  
文部科学省『学習指導要領解説地理歴史編』（最新版）  
授業中に適宜資料を配付する。
10. 授業時間外学習：授業時間外に学習指導案の作成，模擬授業づくりの準備を行う。
11. 実務・実践的授業/Practical business  
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business  
《実務・実践的授業/Practical business》
12. その他：なし

科目名：宗教科教育法Ⅰ／ Teaching Method of Religions StudiesⅠ

曜日・講時：前期 金曜日 1 講時

セメスター：3 単位数：2

担当教員：高橋 原

コード：LB55102, 科目ナンバリング：LHM-EDU915J, 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：ポスト多文化主義教育が描く宗教
2. Course Title (授業題目)：Post multiculturalism and religion
3. 授業の目的と概要：指定テキストに沿って、海外の事例を参考に、多文化が共存する社会において学校教育において宗教を教えることが持つ意味を学ぶ。
4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)：Each student learns the significance of teaching religion in schools in a multicultural society.
5. 学修の到達目標：海外の事例を参考に、日本における宗教教育の課題を理解する。
6. Learning Goals(学修の到達目標)：Students understand the nature of the problems involved with teaching religion in Japanese schools.
7. 授業の内容・方法と進度予定：  
藤原聖子『ポスト多文化主義教育が描く宗教』(岩波書店、2017) を講読の形で読み進める。  
  
(1) イントロダクション  
(2) 宗教と教育におけるコミュニタリアンの転回(1)  
(3) 宗教と教育におけるコミュニタリアンの転回(2)  
(4) ディスカッション  
(5) 「宗教と暴力」の学習方法——日英教科書比較(1)  
(6) 「宗教と暴力」の学習方法——日英教科書比較(2)  
(7) ディスカッション  
(8) イギリスの宗教教育史——コミュニタリアンの転回以前(1)  
(9) イギリスの宗教教育史——コミュニタリアンの転回以前(2)  
(10) ディスカッション  
(11) 共同体の結束へ——二〇〇〇年代以降の宗教教育  
(12) 異文化理解型からどう変化したか——二〇一〇年代の教科書の分析①  
(13) 公共的宗教の諸相——二〇一〇年代の教科書の分析②  
(14) コミュニタリアンの転回の功罪  
(15) まとめ
8. 成績評価方法：  
期末レポートによる。
9. 教科書および参考書：  
藤原聖子『ポスト多文化主義教育が描く宗教』岩波書店、2017
10. 授業時間外学習：授業内で指示する。
11. 実務・実践的授業/Practical business  
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business  
《実務・実践的授業/Practical business》
12. その他：なし  
教科書購入必須。  
原則として、受講者は教員採用試験受験を予定しており、宗教科の教員免許を取得しようとしているものに限る。

科目名：宗教科教育法Ⅱ／ Teaching Method of Religions Studies II

曜日・講時：後期 金曜日 1 講時

セメスター：4 単位数：2

担当教員：高橋 原

コード：LB65103, 科目ナンバリング：LHM-EDU916J, 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：宗教教育の問題点
2. Course Title (授業題目)：Issues in teaching religion in the classroom
3. 授業の目的と概要：中学生高校生に宗教を教える際の問題点を学ぶ。
4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)：Each student learns basic issues in teaching religion in the classroom.
5. 学修の到達目標：世界の諸宗教について教える際の問題点を分かりやすく説明できるようにする。
6. Learning Goals(学修の到達目標)：Students develop an ability to give a plain explanation of issues in teaching world religions in classroom.
7. 授業の内容・方法と進度予定：
  - (1) イントロダクション
  - (2) 日本の宗教 1
  - (3) 日本の宗教 2
  - (4) 日本の宗教 3
  - (5) 日本の宗教 4
  - (6) 日本の宗教 5
  - (7) 世界の宗教 1
  - (8) 世界の宗教 2
  - (9) 世界の宗教 3
  - (10) 世界の宗教 4
  - (11) 世界の宗教 5
  - (12) 世界の宗教 6
  - (13) 現代の宗教 1
  - (14) 現代の宗教 2
  - (15) まとめ
8. 成績評価方法：

期末レポートによる。
9. 教科書および参考書：

Religion in the Classroom: Dilemmas for Democratic Education  
by Jennifer Hauver James , Simone Schweber , et al. Routledge; 1st edition (December 22, 2014)
10. 授業時間外学習：授業内で指示する。
11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness  
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○"Indicatesthe practicalbusiness  
《実務・実践的授業/Practicalbusiness》
12. その他：なし  
原則として、受講者は教員採用試験受験を予定している教員志望者で、宗教科免許取得を希望している者とする。